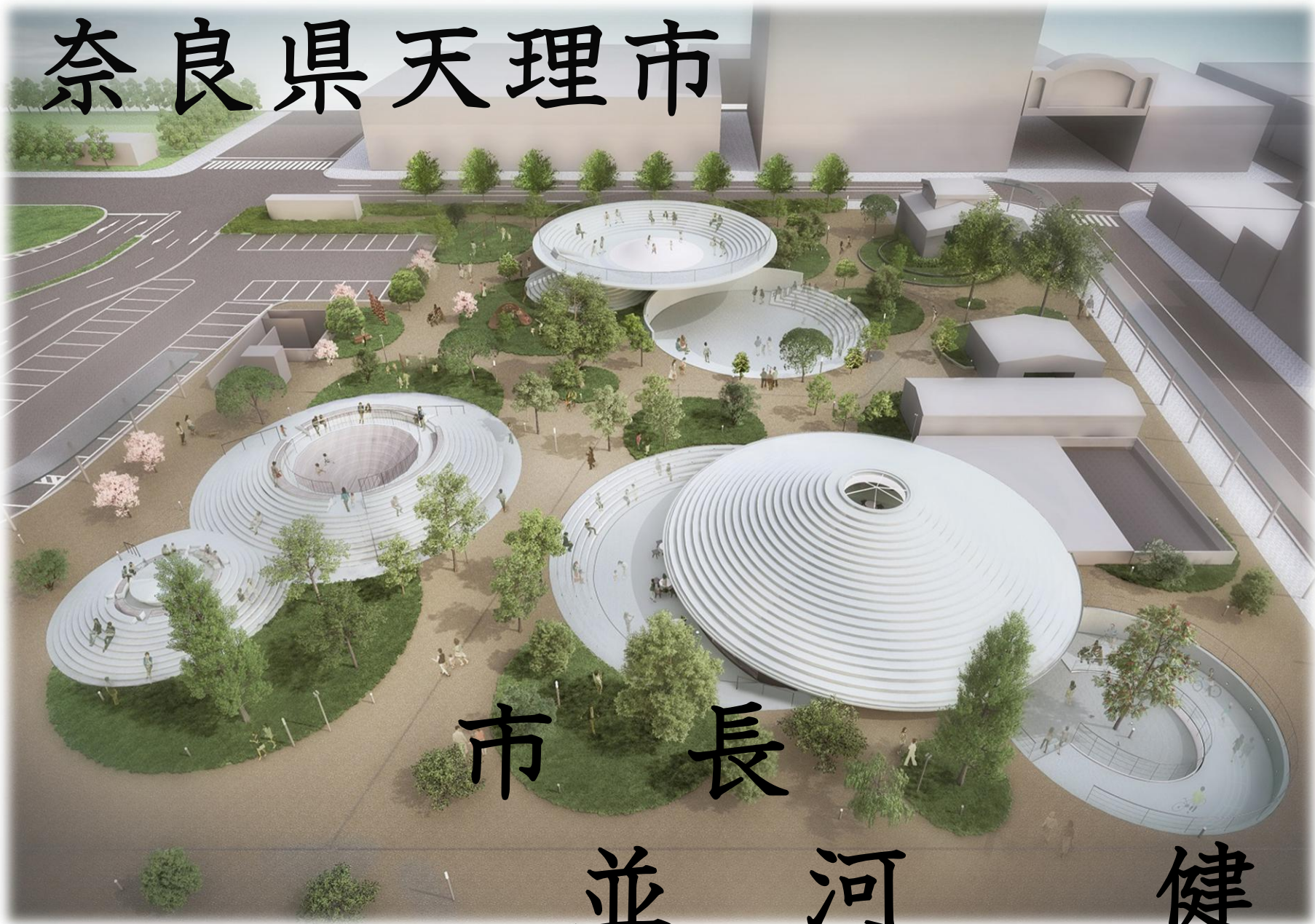


奈良県天理市



市長

並河健

天理市プロフィール



近畿の真ん中
奈良県北部に位置



**スポーツが活発で
数多くのメダリストを輩出**



**音楽活動においても様々な
受賞実績をほこる**

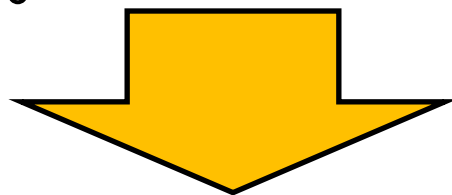
本市の課題

■本市は京阪神都市部への通勤アクセスが約2時間かかる点で近隣市より条件が悪く、現役世代がより通勤しやすい環境を求めて都市部近辺へ転出する住民が多い。

■市民意識調査によると、本市から他地域へ引越す理由として「就職・転職」が多く挙げられており、社会減少の大きな要因となっている。

課題解決の取り組み

場所や時間にとらわれない柔軟な働き方が可能な「場」を提供することで、通勤負担の軽減や生活効率の向上を実現するとともに、新たな雇用を掘り起こし、若い世代の市外転出を抑制して現役世代を市内に留める。



商店街の空き店舗を活用し「テレワーク」と、地域の交流の場である「交流サロン」を併設した、『産業振興館』（テレワークセンター）を開設。

➤ 地方創生先行型交付金を活用

取り組みの経緯

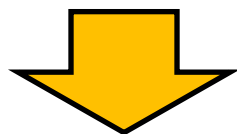
- 国土交通省による実証実験実施（県内外8企業）



- 本市による実施企業ヒアリング及び、継続利用意思確認



- 地方創生先行型交付金申請



- 天理市産業振興館（テレワークセンター）開設

天理市産業振興館（テレワークセンター）

交流スペース

駅前まちづくり協議会や市民活動団体による会議、ワークショップ、各種打合せに利用されています。

また、W i - F i 環境が整っていることもあり、商店街へビジネスで来訪された方の商談や、パソコン教室、地元大学生の打合せスペースとしても活用いただいています。

地元大学のゼミに使用



市民活動団体による会議



テレワークの第一人者 田澤氏
による『テレワークセミナー』



天理市産業振興館（テレワークセンター）

テレワークスペース

- ・ワークライフバランスの実現
- ・効率のよい営業体制

【使用事例①】

天理市在住 40代男性

業種：紙類の卸販売

勤務先所在地：東大阪市



普段は午前6時半ごろから約70分の電車通勤をしており、終電近くで帰宅するというサイクルのため、子ども（1歳8カ月）の寝顔しか見ることができなかったが、テレワークの日は自宅から「産業振興館（テレワークセンター）」まで徒歩10分。朝から子どもと触れ合う時間ができ、帰宅後も家事・育児に参加することができるように。

業務はリモートアクセスでこなし、TV会議で会社との朝礼も遠隔で実施。天理の顧客先へ向かうため、まず産業振興館に出社し、午後からは営業回り。その後再び産業振興館に戻り会社へ報告書を提出して終業…といった効率のよい営業体制になった。

テレワーク（遠隔勤務）で実現した、効率のよい営業体制。家族と過ごすかけがえのない時間も増えた。

天理市産業振興館（テレワークセンター）

テレワークスペース

- ・出産を控えた女性
- ・テレワークにより離職を回避



【使用事例②】

天理市在住 30代女性
業種：ホテル関係
勤務先所在地：大阪市

第2子の出産という、ライフステージの変化により、離職も考えざるを得なかったところ、天理市内に「テレワークセンター」があることで離職を回避できたことに加え、『集中できる環境』で業務を行うことが出来ている。

使用される日はお子様（幼児：第1子）と母親を伴って来館され、母親にお子様を見てもらっている間に自身はテレワークにて業務をこなされている。

天理市産業振興館（テレワークセンター）

テレワークスペース

- ・高齢のご両親が心配
- ・テレワークにより長期帰省が可能に…

【使用事例③】

横浜市在住 30代男性
業種：IT関係
勤務先所在地：横浜市

高齢のご両親が実家である天理市におられるため、定期的に帰省をされている。

ご両親の体調により、長期間の帰省になることが増え、最近では業務への影響を心配しながらの帰省となっていた。

しかし、Facebookで天理市テレワークセンターをお知りになり、利用されるようになってからは、その心配も解消でき、1週間通して利用されることもある。

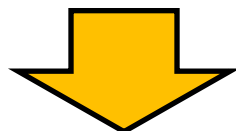


出産・育児、介護による離職防止にはなったが…

活用する企業、ひとが限定的

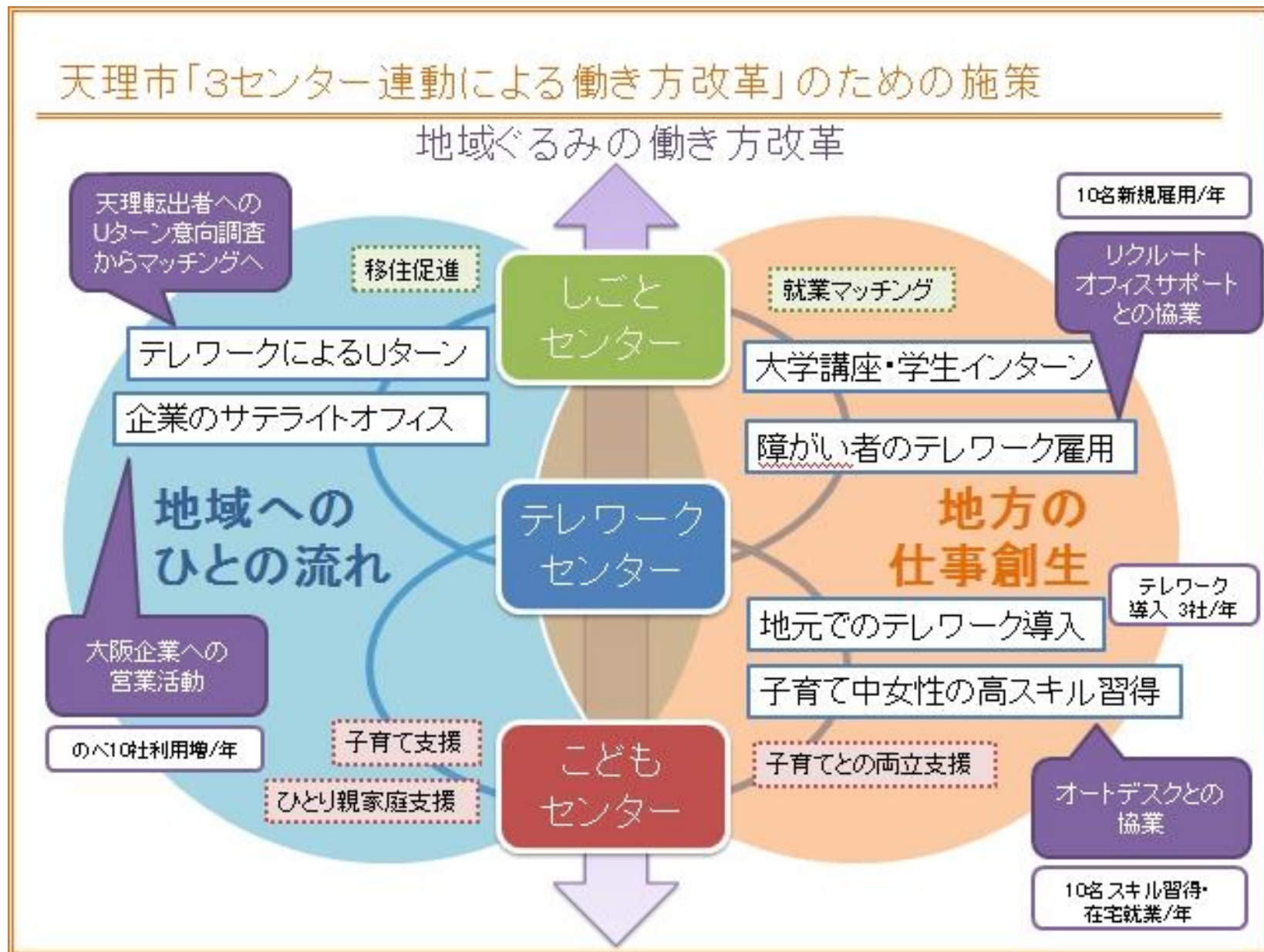


出口（就労のマッチング）まで見据えた戦略



自立的に業務を行える体制を構築

テレワーク×地方の取り組み（今後の取り組み）



テレワーク×地方の取り組み（今後の取り組み）

1. 障がい者の遠隔雇用

- 都市部の企業に遠隔雇用される障がい者を支援

2. 女性の仕事創出

- 3D設計デザイン業務を行える女性を育成するとともに、テレワークを活用し都市部企業から業務を受注し、自立的なビジネスとして運営できる体制を構築

3. テレワークを活用した企業の Uターン・Iターン支援

- 「バーチャルオフィス」等のツールを活用し、企業のUターン・Iターンを支援



め ぐ み

め ぐ る

て ん り